

RED X BLUE



70 回生学年主任 丹生 憲一

体育大会前日。

15 日（木）は**体育大会予行**。昨日までの応援練習を見るかぎり、まだまだ声も気持ちも出しきっていない人が多いように思います。今朝の練習を見ても、下級生のほうが早く集まり、完成度も高い…。本番、大丈夫なのか？…不安を隠せない私の横で、超ポジティブ思考の 0 槻先生は「昨年までと変わらないではないか？周りが盛り上がっていても、ブレない。彼らはいつでも平常心なのだ。今年は受験生。こんなことをしている場合ではないということではないか？」と笑っておられました。…なるほど…どんなことでも、前向きに捉える技術を垣間見た気がします。

泣いても笑っても、**高校最後の体育大会**。最上級生の「意地」「底力」があるなら、見せるのは明日です。

1 組の**陸上競技部白髭一翔君**は、明日から**近畿大会**。**西京極陸上競技場**で、決勝進出をかけて 3000 メートル障害予選を走ります。応援に行くことができなくて残念ですが、**皆の聲が一翔君に届きますように**。

こちらも、健闘を祈ります！

13 日（火）には**全校生徒、全職員にポロシャツが配布**されました。これは、**本校 12 回生の山下文隆さん**（前柏陵同窓会阪神支部長・大日本塗料株 元代表取締役社長・前会長）から、**創立 120 周年**を祝うとともに、**文武両道を具現化して様々な分野で活躍している生徒の皆さんに応援の気持ち**を込めて贈られたものです。本年度に限り、**制服として着用することができます**。4 万人の応援団が自分達を見守ってくれていると感じてください。毎日の授業、明日のような学校行事、部活動の大会で、その応援に応えられるよう、力を出し切りましょう。



アメリカのレイチェルさん、北斗くんからお便りが届いています。

みなさん、どうもルイスです。お元気ですか？私はアメリカに帰った

から 1 カ月ですね。敬語はしんどいから関西弁で書きます。帰ったら

4 日後すぐ学校に戻った。最初は友達が ZERO だったやん。なぜならみんなが私のこと気づいてなかった。寂しいやろ？ 笑 でも声かけたら友達が覚えとった！「レイチェルは別人みたい！」と言われた。私は前髪作ったからジャパニーズになったらしい。英語に切り替えるのがほんまに難しかったやん。お母さんが質問を言ったら日本語で答えてしまった。川原先生という数学の先生は私の関西弁が面白いって言われた。辛い時、私はみんなからのメッセージを読んですぐ元気になる。みんなが私のために書いた言葉が私の力になる。前言うったけど、ほんまに柏高のみんなに感謝します。これからもっと日本語を勉強して絶対にまた日本に行くから待つてね。

だから勉強頑張りやうぜ！

（原文のまま掲載しました 笑）

Hokuto & RACHEL in Kent ☆ No.10

みなさん、どうも橘です。6月に入り気温も高くなり、この雨の多いケントでも晴れの日が多くなってきます。女の子たちは学校にドレスを着て来たり、みんなの服装もカラフルになってきたりして、夏だなあと感じることができ、とてもいいなと思います。こんなところも、制服を着なくて良いことの一つかなと思いました。

さて、日本ではまだ1学期の最中ですがアメリカではもう学年の終わりに近付いています。アメリカの学校は9月に始まり、6月に終わります。つまり、今が卒業シーズンということです。そしてアメリカの青春ドラマや映画を見ている人なら、知っている人もいると思いますが、アメリカの高校の一大イベント「プロム」があります。プロムとは卒業式の前に、最終学年（シニア）のために開かれるダンスパーティです。このプロムは誰と行ってもいいのですが、80%ほどは男女で行きます。ですから、シニアたちは4月、5月ぐらいからプロムと一緒にいきたいパートナーを誘い始めます。すでにカップルの男女は、自然と一緒に行動となりませんが、そうでない、つまりパートナーがいない人たちにとっては学校が戦場となります(笑) たいてい男子から女子を誘うので、女子はプロムのシーズンになるとそわそわし始めて、会話の90パーセントはプロムだそうです。当然、気になる男の子に誘ってほしいものですが、うまくいかないこともあり、女の子のドラマがあちこちであり、次の日には学校中に噂が広まっているという始末です(笑) そんなこともあります、僕は仲の良い女の子に誘ってもらい、平和にことが進みました。女子が誘うケースも稀にあります。プロムはシニアのものなので、それ以下の学年はシニアのパートナーの招待でない限り参加できないからです。プロムはダンスパーティと言っても、とてもフォーマルなので、中には「ウエディングかい！」と言ってしまいそうになるカップルもいました。友達の中には、リムジンでプロム会場まで送迎してもらおうカップルもいて次元が違いました。プロムはシアトルであったので、海の近くで写真を撮ったり、スーツを着て夜の都会を歩いたりしてとても楽しかったです。ダンス自体もとても楽しくてDJがガンガン曲を流して、もうパートナーやレイチェルや友達たちと踊り狂っていました。本当に最高の経験ができたなと思えました！

僕がアメリカにいる間、ほぼ月刊で書いてきた「Hokuto in Kent」ですがこの第10号をもって最終号とさせていただきます。内容はアメリカの文化や伝統や面白い事を書いたつもりですが、たまに忙しいこともあり、なかなか面白いことが浮かばず、つまらない原稿になったときもあったと思います。でも、友達から「おもしろいな」と言ってもらったときはとてもうれしかったです。僕が書いてきた原稿を通して、「留学に興味が出た！」や「アメリカに行ってみよう！」と思える人が一人でも増えたらいいなとおもいます。「留学に行くことで価値観が変わる」というのをよくネットで見たりしますが、そういうことだけでは無く、やっぱり改めていろんな人に支えられて、助けがあるから留学もできるんだなと思えました。そういうことも含めて、いろんなことに気づかされるとと思います。大学でもチャンスがあればどんどん取り組むことをお勧めします！

それではまた7月3日に会いましょう！

